



越部小・だより



2学期のしめくりと3学期に向けて 「後始末」に磨きをかけました

2学期は、緊急事態宣言下でスタートしました。自然学校や修学旅行、運動会、マラソン大会などの学校行事や各学年での校外学習、体験活動も10月以降の実施に延期になりました。保護者の皆様には、そのようなコロナ禍の中、子どもたちの学びを支えるために、学校教育活動にご理解・ご協力いただきましたこと、また、子どもたちの成長を温かく見守っていただきましたことに感謝申し上げます。

さて、12月は、2学期の終わりであり、1年の締めくりでもあります。新年を迎えるにあたり、学校でも、大掃除を1週間をかけて少しずつ行いました。

使った物を元に戻し、身の回りを整理整頓する「後片づけ」は、日常における大切な所作です。そこから一歩進んで、心を込めた「後始末」とは、自分の気持ちや心を整理するつもりで取り組む、次に使う人への思いやりを込める、使った物や道具に「ありがとう」という感謝の心を持つ、などです。

このように心を働かせて、日常の後始末を心がけていくと、学校生活に向かう時の気持ちも、晴れやかに整ってくることを感じられるはずです。また、学習課題に意欲をもってチャレンジしようとする力（行動力）や計画的に取り組む力（段取り力・調整力）も養われていくでしょう。さらに、後始末を通じて、後に使う人を思いやる気持ちは、友だちと仲良く、共に伸びることを願う気持ちにも繋がると思います。

子どもたちは、2学期の締めくりにも、心を込めた「後始末」に熱心に取り組んでくれました。

きっと、新年、3学期のスタートも上手いくことでしょう。ご家庭でも、心を込めた「後始末」に取り組んでみてください。



子どもたちの見守りありがとうございました

「いってきます」から「おかえり」まで、保護者の方々、地域の方々が、日々子どもたちの安全・安心を見守ってくださっていることに感謝申し上げます。

これからも、子どもたちが自ら気付き、交通ルールを守って行動し、しっかりと挨拶ができるよう指導していきます。今後も温かい見守りをよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



温かい拍手をありがとうございました。

2学期の行事で育まれたキャリア教育の視点

子どもたちが社会の変化に流されることなく、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟にたくましく対応し、社会人として自分らしく、自立していくことを目指すキャリア教育が今求められています。子どもたちは、行事を通して、目標・めあてに向かって粘り強くやり遂げようとする力(自己理解・自己管理能力)が伸び、仲間と協力し、認め合う心情(人間関係形成・社会形成能力)が育ってくれたと感じています。これからも、学校行事だけでなく、様々な場面で子どもたちの自立に向けての支援を続けていきます。ご支援、ご協力ありがとうございました。

[運動会 つなぐ・合わせる・やりとげる]



[自然学校(5年生) 協力する・思いやる]



[修学旅行(6年生) 学びを広げる・つなげる]

[たつの音楽協会 コンサート(全校生) 本物に触れる・感性を磨く]



[ウインター集会(児童会)みんなの笑顔のために]

[マラソン大会 粘り強くやり遂げる]



本年度の「音楽会」は、中止とします。

10月に予定していました音楽会は、運動会延期のため、3学期実施を考えていましたが、コロナ感染症対応を踏まえ、学年でのアンサンブル等に変更し、「音楽会」は中止とさせていただきます。ご理解ください。